

- 1 開催日時 平成23年2月9日(水)
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 15名
廣瀬委員長, 高橋副委員長, 小林(修)委員, 小林(利)委員, 石嶋委員, 檜山委員
櫛淵委員, 山野井委員, 塚田委員, 青木委員, 岡村委員, 柳田委員, 河田委員
碧井委員, 櫻井委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 第41回関東甲信越静社会教育研究大会への参加報告について
 - ② 第3回うつのみや地域教育メッセの結果について
 - ③ 地域教育推進体制整備後の取組状況について
 - ④ 東生涯学習センター元今泉館の取り扱いについて
 - ⑤ 宮っ子ステーション事業の実施状況について
 - ⑥ 親力向上支援事業の実施状況について
 - ⑦ 平成23年成人式の結果について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成23年度社会教育関係団体に対する補助について
 - ② 平成23年度社会教育の基本方針及び重点施策について(案)
 - ③ 平成23年度文化行政の基本方針及び重点施策について(案)
 - ④ 「宇都宮市文化振興基本計画」の見直しについて
 - (3) 情報提供
 - ① 家庭の教育手帳の作成・配布について
 - ② 宇都宮市学校応援制度について
 - ③ (仮称)第3図書館の管理運営概要について
 - ④ 宇都宮美術館の整備について
 - (4) その他
- 7 閉会
- 8 発言の要旨

廣瀬委員長

平成22年度最後となる第4回目の会議です。今回の会議では平成23年度の社会教育、文化行政の基本方針及び重点施策や文化振興基本計画の見直しなどを議事として進めてまいります。

年明けに行われた成人式については、感想や改善点など、今後につながるようなお話を皆さんにお伺いしたいと思います。

では、早速、報告事項①の第41回関東甲信越静社会教育研究大会への参加報告についてでございますが、こちらは私が出席させていただくことになっていました。また事務局から篠崎係長と間中主任主事が出席いたしました。

今回のテーマは「地域教育をリードする社会教育活動の活性化を目指して」ということで、東京で開催されました。東京をはじめ、北海道や大阪などでも生涯学習という言葉を使わなくなってきたり、地域教育という言葉が浸透してきています。一日目のパネルディスカッションでは、参加者からコーディネーターを選出するというので、私が務めさせていただきました。宇都宮市で「地域教育プラン」を作ったものですから、その関係で任命されたのかもしれませんが、いずれにしても、生涯学習と言われて、20年立ちますので、次のステップに行く象徴が地域教育という言葉です。地元や地域にこだわって地元や地域を自分達でよくしていこう。住民自治に回帰しようという流れが全国でも見られるようになって、宇都宮市では全国でも早い時期に地域教育という言葉を選択したと思います。今日出席していただいている社会教育委員のみなさんが会議のときに地域とか地元こだわった発言をされた成果として地域教育という言葉が生み出されたと思います。地域教育という概念が広がったということではなく、各地で地域教育という言葉を選択するようになったというほうが早い。もともと地域教育という言葉は学校教育の言葉で、学校教育計画に地域の意見を反映させるといった意味での地域教育という言葉はありましたが、最近は生涯学習の新しい形として地元こだわって、個人の主体的な「学習」というよりも「教育」ということを位置づけようと、もう1回「教育」に回帰しようという流れもあるのではないかと。そんな内容がパネルディスカッションで話しあわれました。

2日目の分科会の方を事務局からお願いします。

事務局

【事務局から報告】

廣瀬委員長

委員のみなさんからご意見ご質問ありますか。

来年度は水戸でやる予定なのでぜひ委員のみなさまもご参加ください。

以上でよろしいですか。報告事項②第3回うつのみや地域教育メッセの結果について報告をお願いします。

事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	参加者、団体が拡大してきました。このことについてご意見ご質問はありますか。出展していただいた櫛渕委員いかがでしょうか。
櫛渕委員	ほかの団体を見せていただいたりして、参考になり交流の場になりました。
廣瀬委員長	団体同士の交流の場はじつはあまりありません。団体同士の交流の場になっているというのは非常に良い機会だったと思います。 この件につきましてよろしいでしょうか。 次に報告事項③地域教育推進体制整備後の取組状況について報告お願いします。
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	この件についてご意見ご質問はありますか。 人材かがやきセンターの事業は今年度スタートしておりまして、順調な滑り出しをみせております。今までにないタイプのユニークな講座が展開されていますので、見ていただければと思います。 次に報告事項④東生涯学習センター元今泉館の取り扱いについて報告お願いします。
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	元今泉館がまちづくりセンターになる、ここまで情報提供していただきました。新しいまちづくりのモデルになるのかなと思います。特に個別のオフィスを設けているのは、政令都市では見られますが中核市ではなかなか見られません。 みんなでまちづくり課の課長補佐もみえているのでこの機会に、この件について質問はありますか。
高橋副委員長	まちづくりセンターについては市民から、たくさんの関心の声が私のところにも届いていまして、まちづくりセンターができることはすばらしい取組だなと思います。たくさんの市民が興味関心を持っていますので、駐車場の台数は確保できているのでしょうか。
事務局	現在の元今泉館の駐車場をそのまま引き継ぐ予定ですので、日常的な台数
【みんなでまちづくり】	については、まかなえるものと考えております。
廣瀬委員長	そのほかありますか。

次に報告事項⑤宮っ子ステーションの実施状況について報告をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

宮っ子ステーションについては、山野井委員が関わってらっしゃると思います。山野井委員から具体的に報告いただけますか。

山野井委員

陽光小学校宮っ子ステーションで、地域づくりということで4年やっています。最近を着々と上手い具合になってきたなと思います。内容について検討しなければならない時期に来ているのではないかと感じています。ある意味では今日は「これでいいよ」という雰囲気、格好だけになってしまおうという場面もあり、プログラムをどのように位置づけるか、その辺が今後の課題になると思います。

廣瀬委員長

陽光小は19年度からモデル的に進めておりまして、毎日やっています。大変な量だと思いますが、まさに地域の教育力そのものであり、このことで地域の人の横の繋がりとか地域で子どもを育てるということが、スローガンではなく実態として広がっている。このことが宇都宮市全体で広がっていくことが期待される事業だと思います。

ほかにご意見ご質問はありますか。

次に報告⑥平成22年度親学向上支援事業の実施状況についてご報告をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

親学向上支援事業の実施についてご報告いただきました。この件についてご意見ご質問はありますか。

小林（修）委員

説明にもあった家庭教育サポーター養成そして養成後のサポーターの方の仕事。その辺についてずっと気にしておりました。いい所に目を付けていただいで進めていただいていると思います。いま中学校に勤めていて、強く感じていますのは、多くの家庭では子育てに強く関心を持って、幼少時から適切な養育をしていると思いますが、もうちょっと子育てについて感心を持って育てていたらなあという生徒が、どうしても学校では出てまいります。その子どもを見るたびに過保護、過干渉、そしてその反対のネグレクトなど。その極端な事例をどういう風に解決していくかは、中学生の学齢になると非常に難しい。今後とも力を入れて、進めていただきたい。もう一つ、子ども達の居場所ということで話がありますが、私が話したような生徒達。例えば少年鑑別所や保護施設にまゐりまして一定の期間が経

って、家庭裁判所を経るなどして、帰ってまいります。どういう居場所を作ってやれるかという時に解決策が見当たらずに苦心しています。通常子どもの居場所といいますと、問題傾向を持たない子ども達にとっては、健全感が漂っています。問題傾向の子ども達は「戻ったら誰と」ということになれば、もともと付き合っていたような友達とまた付き合うようになる。困っていることをみなさまに知っていただければと思います。

廣瀬委員長

重要な課題だと思います。実は親力は小学生を持つ親を中心にしてしまう傾向があります。本当は中学生高校生の思春期の子どもを持つ親のほうが悩ましい問題が多いです。そこをフォローしていくのも考えていかなければならない、これが成人教育にも繋がっていく。大人としての生活の仕方、物の考え方を正していくことが必要だと思います。
続いて報告事項⑦平成23年宇都宮市成人式の結果についてについて報告をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

今までは成人式は単なる中学校の同窓会をやるだけではどうなのかという声が出ていた、今年度は大きくそういう様相が変わりまして、地域交流事業、若者が成人式に参画する。2つの社会教育事業としての意義を明確に打ち出しまして、その効果がアンケートに出てきている。特に7番目の地域交流事業については74%の方が肯定的な感覚を持っているということは一定の社会教育事業としての成果があるものと理解できる。参加していただいた委員のみなさんに発言していただきたい。

石嶋委員

若松原のグランドホテルで午後に参加しました。社会福祉協議会の地区の会長も兼ねていまして、毎年ご招待していただいている。10年ぐらい見ているが、羽織袴を着ている新成人が、国歌斉唱の時に立たず、前の方で偉そうに座っていた。しかしそういう子は一部で、全体的には乱暴な言動もなく、式もスムーズに行われた。同じ成人者が司会や運営に携わっていて、式自体も和やかになっている。その後の懇談や写真撮影は、私たちは見ていないので、式典しか分からないですが、一部、そのような子どももいた。

塚田委員

星が丘中学校区の成人式に出席しました。15年ぐらい関わっていますが、4、5番目に静かだったのではないかと感じました。地域交流事業等という内容を見て感じたのですが、各懇談テーブルに花を飾るというのは当たり前であって、ここにいれるような内容では無いような気がする。星が丘も同じように書いてあって寂しい気持ちになった。
また当日、会場の前に行きますと中庭が凍っていて、ロープが張ってあっ

中に入れない。どうやら、準備にきた方がそこで転んで骨折をしたらしい。カラスが多いので、前日に会場の方が糞を掃除するために水をまいて、そのままにしたため、当日の朝、凍ってしまい転んだようです。成人式の事業は保険に入っていないと聞きました。骨折した方は心配していたようですので付け加えます。

岡村委員

宮の原中学校区の成人式に出席しました。市長のビデオメッセージはほとんど聞いていませんでした。その後は静かになりましたが、ほとんど聞いていない状況ですから注意してもいいと思います。20歳ですから注意されなくても静かにするのが当たり前ですが、厳粛な式典の冒頭に市長メッセージですから司会者が注意していい。マイクを通してだと好ましくない場合は「静かにしてください」というプラカードを持って会場を回るなりして、何らか注意を喚起すべきと感じました。

廣瀬委員長

私も同感です。

櫛渕委員

今年あたりから静粛になってきたなと感じました。一条と宮の原に出席しましたが、宮の原では、来賓に対しての座席表が作ってあり、スムーズに分かりました。一条は何も準備されていなく、まるで子ども扱いのように廊下に立たされ、一人一人名前を呼ばれ順々に並ばされ、来賓の方は憤慨していました。一覧表を作ったほうが良いだろうという方が多かったです。そこを来年度は考えていただければと思いました。

事務局

【生涯学習】

市長が行かれました2ヶ所、午前は姿川、午後は泉が丘に行きました。ビデオメッセージは聞いていないというご意見もありましたが、さすがに市長の生の激励の言葉はみなさんしっかりと聞いており、非常に厳粛な式典ができたと思います。

廣瀬委員長

委員のみなさまのご意見を毎年反映していいものにして欲しいと思います。櫛渕委員やほかの委員様から指摘ありましたことは来年度、申し送りをして改善するよう努めてください。私も陽東中学校区に行ってきたのですが、ざわざわして騒がしかった。きちんと注意することも必要なのではないかと感じました。

以上で、成人式については終わりにします。

協議事項に入りたいと思います。

① 平成23年度社会教育関係団体に対する補助について説明をお願いします。ここで補助に関わる団体の方はご退席願います。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

事務局から示された、5つの団体に補助をすることについて、意見をいただきたいのですがどうですか。

例年通りでよろしいですか。

【異議なしの声】

我々の意見としては例年通り該当団体に補助金を交付していただきたいということでまとまりました。

では関係団体の方に入室願います。

② 平成23年度社会教育の基本方針及び重点施策について（案）に説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

地域教育プランに基づいて基本的には人材かがやきセンターを中心に社会教育を推進していくという説明だったかと思います。このことについてみなさまご意見はありませんか。

櫻井委員

1点だけ、お願いがあります。いま、社会の中で行政にお願いすれば、手当てがもらえる。働かなくても生活ができるというような考えが増えてきている気がします。働く大切さ、働いてお金を得る、あるいは生活していく、また働くことによって社会貢献していくこと。このようなことを子どもうちからも教えていく必要があるのではないかと感じています。社会教育の中で働く大切さ、働くことの重要性を教えていくような項目があればと思います。

廣瀬委員長

重要なことだと思います。特に世界の生涯学習のトレンドは職業教育です。分かりやすく言いますと、大学を卒業して就職して辞めないで、税金を納める人の数を増やさないことにはどうしようもない。勤労感を養う項目を検討していかなければならない。今すぐは難しいかもしれませんが、人づくりの中に入れていただければと思います。

事務局

【生涯学習】

特に青少年の部分では社会教育の中でも重要性について認識していますので、学ぶ機会を作っていくことはできると思います。また地域の大人が、地域ぐるみでそういったことをどんどん子ども達に教えていこうという取組を入れていくことも可能だと考えています。学校教育の分野でもキャリア教育があるかと思っています。

事務局 【学校教育】	キャリア教育という名称で学校では取り扱っていますが、以前は中学生から学習を進めてきましたが、最近小学生のうちから、キャリア教育に力を入れて取り組んでいる状況です。さらに今後、小中一貫教育、地域学校園を推進するにあたりまして、キャリア教育を重点的な取組として進めてまいりますので、小学生のうちから働くことを意識した教育を推進していきたいと考えております。
廣瀬委員長	社会の問題を解決するために社会教育があるわけですから、原点に戻っていただければと思います。
石嶋委員	魅力ある学校づくり地域協議会の支援強化というように書いてありますが、予算の面でも強化をしていただきたい。学校を中心として地域の力を結集してさまざまな事業を行う、まさに地域教育だと思う。恐縮ですが、お金の面をどうぞよろしくお願いします。
櫻井委員	関連で質問させていただきます。学校支援地域本部が今年で終わるということで、話を聞きました。魅力ある学校づくりの方で、10万円のお金がかかるのですが、コーディネーターの部分について財政的に心配をしています。ボランティアでできる部分もありますが、10万円にコーディネーターの分が入ってしまうのか、プラスαで予算を付けていただけるのか。各地区の地域協議会ははじめ地域支援本部もそのように心配している。私も議会では教育に力を入れるべきだと思っていますので、少しでも予算を付けていただければという要望です。
事務局 【生涯学習】	いろいろご要望いただきました。予算編成中ですので、細かいことはこの場では申し上げることはできませんが、魅力協がこれからの地域学校園の中でも大きな役割を担ってまいります。特に学校支援地域本部を受けた学校ではコーディネーターの大切さを身にしみて分かっている部分もありますので、そういったことを踏まえつつ、今後地域の熟度や実情に応じて地域が創意工夫しながら柔軟に使えるような財政支援を検討しているところであります。その中で一点、これまでの学校支援地域本部のような潤沢な謝金は無理だと思いますが、コーディネーターが必要な実費が一定の範囲の中で出せるような部分も考えておりますので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いします。
廣瀬委員長	それでは、この件については以上のとおり決定いたします。 平成23年度文化行政の基本方針及び重点施策について（案）について重点的に協議する部分に絞り込んで説明していただければと思います。よろしくお願いします。

事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	文化行政の基本方針について説明いただきましたがいかがでしょうか。
青木委員	中学校文化連盟の全国大会を予定しており、文化会館を3日間、お借りするのに費用が発生する。全国大会をやって、宇都宮に来ていただいて、経済の繋がり、人の流れができて、かつ文化に繋がる活動をするにもかかわらず、県で文化会館（市の施設）を借りようとするとう費用が発生するということを経長先生に聞いたのですが、こういった場合の助成や、費用が掛からずに場所を提供していただけたりはしないのか。
事務局 【文化】	宇都宮の文化会館は県であろうと市であろうと減免という措置がありません。中学校文化連盟の全国大会におきましても文化会館の使用料を減免するという方法での支援はできない状況です。
青木委員	なぜ減免できないのか。
事務局 【文化】	減免について規定がないからです。
事務局 【学校教育】	施設は減免ができないということですが、中学校文化連盟の全国大会ですので学校教育課の方で助成できないかを検討しております。
廣瀬委員長	相殺されて、結果的に施設の使用料に充当されればよい、それでは、前向きな回答をいただいたということで。
高橋副委員	施設の充実というところですが、市の文化会館の小ホールよりも小さな200名から300名ぐらいの施設が宇都宮にないので大変苦勞しているという声が、音楽活動をされている方から届いている。現在は県のパーティを借りているそうですが1年前2年前に予約をしないと取れない状況だそうです。郷土の音楽を広めたいという人もいまして、いろいろなボランティアをされながら音楽活動をされている方々からも声があるが、今回の内容には盛り込まれていないように思いますが。
事務局 【文化】	芸術活動をされている方から、そういったご要望があることは知っています。また我々もいい環境を作っていきたいと考えております。しかしながら新しいところを作るのは難しい状況です。第3図書館で新しい多目的ホールができて、音響も充実した施設となっておりますので、そちらを積極的にPRしていきたいと思ひます。活用していただいて、芸術活動を盛んにしていただければと思ひます。

事務局 【生涯学習】	<p>第3図書館に整備する多目的ホールですが、東市民活動センターのホールを思い浮かべていただければと思いますが、可動席と通常の椅子を入れて400人ほどの収容ができます。固定のステージがありますのでそちらで通常の音楽の発表ですとか、演劇などにも対応できる造りになっております。利用に関しましてもパーティや福祉プラザなど県の施設に多くの活動者の方が流れていますので、地元の方、宇都宮市民の方が使えるような手続き、使用料などについても検討しているところです。いずれご覧になっていただく機会があると思いますので広く周知してご活用いただければと思います。</p>
事務局 【文化】	<p>席の方は多目的ということで可動式ですが、ステージとか反響板とか幕とか照明などはかなり効果が高い設備になっていまして、楽屋もあります。実際音を出してはいないですが、十分使っていただける施設だと思っております。</p>
高橋副委員	<p>明日視察に行きます。</p>
廣瀬委員長	<p>平成23年度文化行政の基本方針及び重点施策について決定いたします。次に宇都宮市文化振興基本計画の見直しについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
廣瀬委員長	<p>素案も含めて意見を伺いたいのですが。</p>
岡村委員	<p>改訂版の素案ですが、P17の文化財の保存・活用の3行目、宇都宮城址公園の整備に伴いガイダンス施設を新設するなどした結果、市の文化財等施設の来訪者数は目標を大幅に上回りました。とありますが、その下の主要な取組の達成状況の中で市の文化財等施設の来訪者数、平成22年現状で126,000人とありますが、私が知りたいのは126,000の内、飛山城史跡公園、とびやま歴史体験館が何人か、宇都宮城址公園が何人か。その内訳が分かれば教えていただきたい。</p> <p>2つ目に文化資源を活用した宇都宮の特色づくりNo.24の百人一首の関係です。素案のP19に百人一首市民大会の拡充とあります、市民大会参加者数は426名、これは参加者数が伸び悩んでいる。市民大会の対象は大人ですか。子どもですか。</p> <p>私の経験から申し上げますが、富士見小の宮っ子ステーションは21年度スタートし、放課後子ども教室の活動メニューは9つでした。9つの内の1つは百人一首、9つの活動のメニューの中でも子ども達に人気のあるもの、本当に人気のないものがある訳です。百人一首は人気の低い活動だった。74名の登録者のうち一番少ないときは20名ぐらいのときがあった。</p>

百人一首は上の句，下の句がある。読むのは上の句，下にあるのが下の句。だから，上の句下の句が分からない人は取れない。分かる子どもはどんどん取る。差が出てしまい，次の百人一首には行かなくなる。宮っ子ステーションをスタートしてから百人一首は活動から省くという意見も出た。しかし宇都宮が発祥の百人一首だから懲りずにやろうということで続けていましたら，22年度のスタート時には非常に子ども達が活気づく活動の内容になった。百人一首の参加者が伸び悩んでいる現状を踏まえて，機会や場所を数多く提供することによって子どもも，大人も百人一首に関心を示してくれるのではないのでしょうか。

廣瀬委員長

文化課から回答してください。

事務局

【文化】

お示ししている数字は，市の所有している5つの施設の合計になっております。21年度に城址公園に72,360人，とびやま歴史体験館21,052人，うつのみや遺跡広場18,157人，旧篠原家住宅8,217人，上河内民族資料館5,200人で合計126,000人でございます。

百人一首市民大会は，お子様からお年寄りまで幅広い年齢層で参加していただいております。人数もお子さんだけでなく大人の方も含めた人数になっております。目標値に至らない現状値になってはいますが，ご指摘いただいたとおり，今後より一層普及に努めてまいります。先日，実行委員会も開催しましたが，その中で指導法の普及，小中一貫教育の会話科の中で取り入れていただきましたので，そういったところを利用しながらますますの普及に努めてまいります。

塚田委員

P18の宇都宮伝統（ふるさと）文化継承事業の新設でよいか。

指標が鑑賞者数なので，新設ではなく何かの間違いでないか。

例えば「新設」ではなく「推進」という文言の方が適切ではないか。

事務局

【文化】

こちらは，現行の計画の中での事業名称となっております。平成18年に文化振興基本計画を策定した当初はふるさと文化継承事業の取り組みをしていない段階でしたので，「新設する」という事業名になっていました。指標名は新設後の各種イベント等への参加者数とさせていただき，目標を600人としておりました。事業名と指標が分かりにくい部分がありましたがご理解いただければと思います。

塚田委員

素案のP28基本理念に歴史と個性を活かした宇都宮文化の創造と心豊かな人づくりとあります。その中の「創造」という字ですが，「保存」や「継承」といった文言の方があっている気がします。「創造」は新たに作り出す，ゼロから作り出すというイメージが強く，今まで宇都宮文化がなかったよう

な書き方のような気がしますがいかがでしょう。

廣瀬委員長

文化課の方は「創造」について意見はありますか。

事務局

【文化】

ゼロからのスタートという意味の「創造」もありますが、個性的な宇都宮の文化を今後作っていきましょう。という意味での「創造」と考えていただければと思います。あるいは、既存の文化、アートなどを結びつけて新たな文化を「創造」といった意味合いで、ゼロからというよりはプラスαの意味で新しい物を作っていくということで、この「創造」を使わせていただいています。

塚田委員

P28の文化的資源の掘り起こし、保存、継承という文言があるのだから、宇都宮文化の保存、継承がピッタリ合う気がするのですが。改定することとならなさら、最初からスタートする訳でもないの、そちらの方がふさわしい気がします。

廣瀬委員長

文化は突然現れるものではなくて歴史的な経緯、地域に育まれたものがベースにあって、アレンジして新しい物を取り入れて文化をつくり出していくことが一般的に考えられている。文化創造という言葉はよく使われているもので、「文化」には常套句のように「創造」が使われている。文化課で、どのような結論になるかは別として、もう一度、文化の創造という文言について検討することと、あわせて説明できるようにしておいていただきたいと思います。素案ということですので改定の余地がある。そういう意見もあるということで成案にさせていただければと思います。

特に回答が必要ということではないのでよろしく願いいたします。

そのほかご意見ありますか。

パブリックコメントには誠実に回答していただきたい。市民の要望などに対して、まわりくどくやるのではなく、財政的に新しいものを作ることができないと、分かっていた方がよい。既存の施設を上手く活用してみなさんの要望に答えていきたいというような形で、誠実な回答していただくことが市民の協力を得られる要素かと思います。

それでは、宇都宮市文化振興基本計画の見直しについては以上で終了したいと思います。

続いて、情報提供の部分を説明していただきたいと思います。

家庭の教育手帳の配布について説明をお願いします。

事務局

【教育企画】

教育企画課の案件でございますので、家庭の教育手帳と宇都宮市学校応援制度について一括で説明させていただきます。

【資料について説明】

廣瀬委員長 企業との連携もここまで進んでいるんですね。皆様ご質問等ありませんでしょうか。

櫻井委員 手帳の大きさはどれくらいですか。もう少し大きい方が見やすいのではないかな。

事務局
【教育企画】 今日実際サンプルを配っていませんが、A4より若干小さめのサイズでカラー刷り、小1～小4までは黄色の表紙、中3まではブルーの表紙です。イラストや写真もすべてカラーで作りました。

櫻井委員 なるべく見やすい大きな字がよいと思っているのですが、構成の中でスペースが空いているとすれば、うまく利用してください。

廣瀬委員長 なかなか内容が面白そうでいい手帳ですね。素晴らしい内容です。

青木委員 教育手帳ですが、費用をかけて作るわけですから、ただ作って終わってしまうのが一番問題だと思います。ただ配るだけだと、おそらくお蔵入りになります。ですので、例えば先生と保護者と子どもが記入できるようなスペースや、先生方をお願いしてそういった紙を1枚つけてもらって学校と保護者と子どもとがやり取りできるような物で、この4年間についてはこれをみれば、学校の思い出や先生や親の思いが残るような物にならないでしょうか。ただ配って終わりでは、せっかくの立派な内容が役立たないのかなと思います。

事務局
【教育企画】 保護者の方の記録の部分につきましては、お子さんの記録を記入できるようなページを設けております。先生からの連絡事項や思いなどの部分は現在のスタンダードダイアリーなどにも、学校とのやりとりをつなぐ部分もありますので、今回はそういった部分は省かせていただいて、保護者の方の記録用に重点を置いて作らせていただきましたが、今回作って終わりということではありませんので、まず配布させていただき、みなさまのご意見、学校と家庭の繋ぎ方などへのご意見等も踏まえながら、今後改訂などにも取り組んでいきたいと思っております。

廣瀬委員長 ほかにいかがでしょうか。

小林（利）委員 今回の段階でということではありませんが、今後、改定の時期があるとなれば、学校でやっていることを意識したうえで家庭も学校も同じところを目指していて、学校や家庭で「こうやっている」、「こういうところをお願いします」というのがはっきりしていると、一般的な子育ての手引きより効

果的に働く気がします。学校から見たときの課題で家庭にお願いしたいことが載っているとか、そういった関連もあるので検討していただければと思います。改定の時には中身を作っていく段階で、学校側から関わるのも面白いのではないのでしょうか。

廣瀬委員長

これは学校の先生にも配っていただけますか。

事務局

【教育企画】

配らせていただきます。通常の手引きではなく、学校では、この学年でどのようなことをやっているのか。家庭では、家庭での学習の部分でどのような心がけが必要か、同世代の子どもを持つ保護者の中の悩みやご意見もいただきまして、アドバイスの内容を含めたものとして、作成をさせていただいております。今後十分ご意見をいただきながら改定に望んでいきたいと思っております。

廣瀬委員長

なかなかユニークですね。ありがとうございました。情報提供1, 2はこれで終わりになります。

次に（仮称）第3図書館の管理運営概要について説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ご質問ありますか。内覧会があるのでぜひ行ってみてください。

次に宇都宮美術館の整備についてご説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

この件についてご質問ご意見ありますか。

情報提供について終わりになります。

その他の案件について事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。その他の案件ありますか。

今期の社会教育委員も6月30日をもって改選ということですが。

委員長を務めさせていただき、みなさんと一緒に社会教育について考える機会を与えていただきました。ありがとうございました。

それでは、これで解散となります。